

154-参-国民生活・経済に関する…4号 平成14年04月10日

※公的規制の緩和及び起業促進にあたっての課題について参考人に質問

○辻泰弘君 民主党の辻泰弘でございます。

まず、お三方に共通してお聞きしたいことですが、それぞれ起業、実業、またそれらに対する研究に従事されてきたわけですが、その過程で、起業、業を起す場合の妨げとなっている規制というものを感じられたことがあるのか。すなわち、それぞれの方々から見られて、緩和すべきあるいは改革すべき規制というのは何か、このことについてお伺いしたいのが第一点。

それから第二点は、二つ目は米倉参考人にお伺いしたいんですけども、先生のお話の中で、間接金融の方がリスクが高くて直接金融の方がいいんだということで御指摘がありました。なるほどと思うんですが、直接金融をしからばどのような形で充実、拡大させていくのかと。日本の場合、ストックオプションの税制とかあると思うんですが、現実には、日本の場合のベンチャーの育成に、ストックオプションだとかあるいはエンジェル税制というのが効果を持っているのかどうかということをお聞きしたいことが一点。

それからもう一つは、年金資金の運用といいますか、そのベンチャーへの流入ということを御指摘があったと思うんですが、その意味するところは、日本に当てはめると、公的年金の積立金をそういうリスクがあるかもしれない分野につき込んでいくということになるかと思うんですが、現在は特殊法人を通じて、信託を通じて株も運用できるということになっているわけですが、その間に間接的にしたいわけですが、直接的にそういう部分にも入っていくべきだと、こういうことになる、御主張になるのかということをお聞きしたいと思います。

○理事（内藤正光君） 一つ目の質問はどなたに。

○辻泰弘君 お三方共通でございます。

○理事（内藤正光君） では、まず一つ目の質問はお三方共通ということで、高柳参考人の方からお願いをいたします。（以下略）